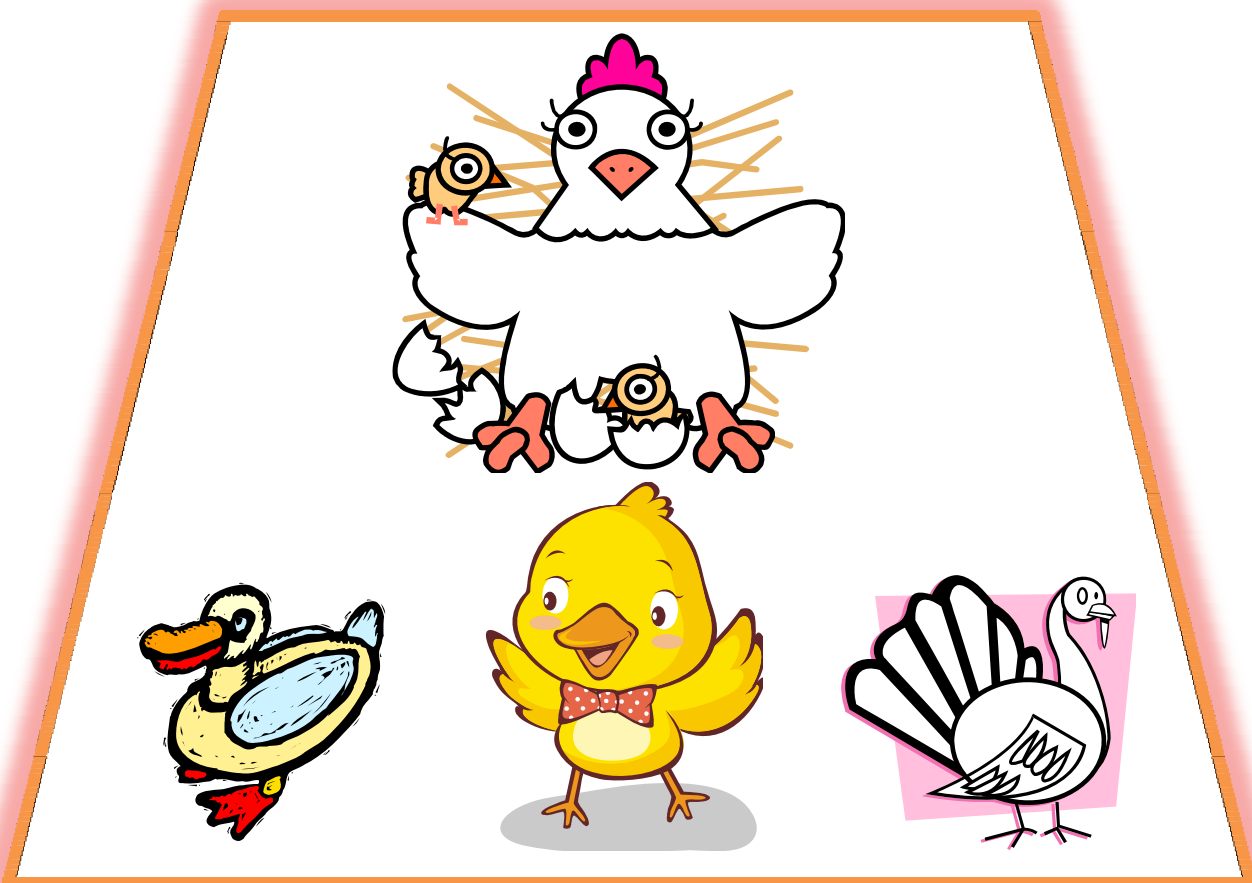


高病原性鳥インフルエンザの 発生を防止するための重要ポイント！

～自分たちの家きんをインフルエンザから守るために～



北 海 道

北海道養鶏会議・北海道食鳥生産推進協議会

高病原性鳥インフルエンザの発生を防止するための重要ポイント！

1 人・車輛等による侵入防止対策

(1) 農場出入口：

農場への外来者、車輛の入場は必要最小限にし、出入りする車輛は消毒をしましょう。

(2) 鶏舎内：

- ①部外者の立入を禁止しましょう。
- ②出入口に消毒槽を設置しましょう。
- ③消毒薬は、汚れ次第交換しましょう。
- ④使用する機材は消毒をしましょう。
- ⑤農場の専用長靴を設置しましょう。
- ⑥農場の専用作業着を設置し、清潔に保ちましょう。



2 野鳥・野生動物による侵入防止対策

- (1) 鶏舎には、2cm角以下の網目の防鳥ネットを上から覆うように、ゆったりと垂らすように張り、間隙を塞ぎ、破損が見つかったら、すぐに補修しましょう。
- (2) 間隙を塞ぎ、ネズミの侵入を防止し、捕獲装置等の設置や殺鼠剤により駆除しましょう。
- (3) 鶏舎周辺、農場敷地周縁及び農場内道路へ消石灰を散布しましょう。
- (4) 鶏舎の中に入ったら、すぐに扉を閉めましょう。



3 飲用水・飼料の汚染による侵入防止対策

- (1) 新鮮な水道水を使い、貯水タンクを清潔に保ちましょう。

(2) 水道水以外を使用する場合、遊離塩素濃度が0.1ppm以上含まれるように調整し、濃度を定期的に確認しましょう。

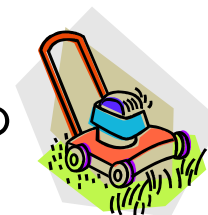
(3) 飼料タンク付近にこぼれた餌がないよう、清潔に保ちましょう。

(4) 飼料倉庫等は、野鳥・野生動物等の侵入防止を図りましょう。



4 鶏舎内外の整理・整頓・清掃

鶏舎内外の整理・整頓・清掃や鶏舎周辺の草刈りや木の伐採を行い、ネズミや野鳥の繁殖場所をなくしましょう。



5 鶏の健康管理及び取扱い

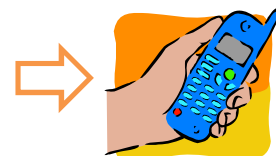
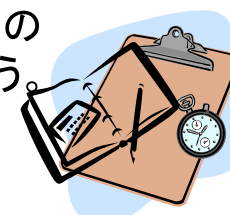
(1) 健康な鶏の導入や死亡鶏の適切な処理を行いましょう。

(2) 鶏舎内の環境整備(適正な飼養羽数と良い換気)や鶏への適正な飼料の給与など、飼養管理の向上を心がけましょう。

(3) 死亡鶏は毎日取り出し、羽数を記録しましょう。

(4) 導入鶏、出荷鶏の羽数等の記録をしましょう。

(5) 高病原性鳥インフルエンザを疑われる異常を認めた場合、速やかに、家畜保健衛生所に通報しましょう。



6 鶏糞の処理

(1) 鶏糞は農場内で適切な水分管理をして十分に発酵させましょう。(中心温度70℃以上)

(2) 生鶏糞を農場外に持ち出す場合、こぼれ落ちないように注意し、鶏糞から他の農場への病原体の拡散に注意しましょう。

(3) 鶏糞処理施設には、防鳥ネットを張りましょう。

7 鳥インフルエンザに対する理解と教育

日頃から鳥インフルエンザに関する知識の習得に努めましょう。

